

税関職員や警察官などを名乗る電話詐欺に関する注意喚起

対象：旅レジ登録者と在留届、メールマガジン登録者（含、アリゾナ）

ポイント

- ・日本の税関職員、警察官、総領事館職員などを名乗る者による電話詐欺事案が引き続き発生しています。
- ・かかってくる電話は日本語で、クレジットカード情報、銀行口座情報などの個人情報を聞き出そうとします。
- ・身に覚えのない内容で金銭や個人情報を要求された場合は、詐欺の可能性が極めて高いと考えてください。このような不審な電話を受けた場合には、冷静に対応するよう心がけ、相手から指示があっても、金銭や個人情報を絶対に提供しないでください。

本文

1 日本の政府機関の職員を名乗り金銭や個人情報を要求する電話詐欺事案の報告が複数当館に寄せられています。最近の電話詐欺事案の内容は以下のとおりです。

（１）「ムラカミ」と名乗る者が、東京国税局職員（注）であると（日本語で）主張して電話をかけてくる。（注：日本の税関、警察、大使館・総領事館といった政府機関の名称を使う例もあります。）

（２）「ムラカミ」なる人物は、相手方の名字や電話番号、住所を把握しており、確認してくる。

（３）また、日本に送付した荷物に薬物が入っていた、あなた名義の携帯電話が犯罪に使用されているなどと主張し、日本の警察に電話を転送すると伝えられる。（電話が転送されると、別の人物が警察職員と名乗り尋問等してくる。）

（４）電話で、出頭を強く求め、強制送還や逮捕の可能性をちらつかせる。

2 このような電話を受けた場合は、冷静になり、以下のような対応を心がけてください。

(1) 一度電話を切ってください。その上で、心配な場合は、相手が名乗る機関へ直接電話をかけて、事実関係を確認してください。信頼できる情報源からの確認が重要です。日本の政府機関がクレジットカード情報や口座情報を電話で照会することはありません。

(2) 身に覚えのない内容で金銭や個人情報を要求された場合は、詐欺の可能性が極めて高いと考えてください。このような不審な電話を受けた場合には、冷静に対応するよう心がけ、相手から指示があっても、金銭（銀行送金等）や個人情報（クレジットカード番号やソーシャル・セキュリティ番号等）を絶対に提供しないでください。

(3) 犯人側が電話で名乗る組織や主張する内容は上記と異なる場合もありますが、少しでも不審に感じるがありましたら、下記の当館電話番号までお問い合わせいただくようお願いいたします。

当館ではこれまでに以下のような詐欺に関する注意喚起を行っておりますので、この機会に改めてご一読ください。

詐欺に関する注意喚起のメール(<https://www.la.us.emb-japan.go.jp/pdf/WarningSagi.pdf>)